

資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [経営対策活動](#) | [経営対策活動の内容](#)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[🔍 キーワード検索はこちら](#)

経営対策活動の内容

I 経営対策活動とは

「経営対策活動」とは一般的に労働組合が経営に関与していく事全般を指します。」

労働組合は、組合員の雇用確保と労働条件の維持・向上を主な目的として活動しています。それらの実現に不可欠なのが企業の安定的な成長です。明確な経営方針のもとで適切に事業が運営され、その結果、会社が健全に発展することが私たちにとっても大変重要なことです。

そこで、労働組合が、経営の考え方や方向性について認識を深め、事業運営についてチェックするとともに、必要な意見を積極的に述べるなど、働く者が納得できる経営を求める経営対策活動を行っていく必要があります。

一方、経営者の側も、組合に対して経営情報を開示し、目的や課題の共有化をはかることができれば、双方の相互信頼が深まり、労使一体となって経営目標の達成に取り組むことができます。つまり、経営対策活動を充実させることが企業体質の強化に結びつき、ひいては、私たちの雇用と労働条件の維持・向上につながります。

1 なぜ必要か

労働組合の持つ役割としてまず思い浮かぶのが、**雇用の確保、労働条件の維持・向上**、ではないでしょうか。実際に「雇用」は労働組合の最大の関心事項ですし、労働条件の維持向上についても毎年の春闘に代表されるような様々な要求をしています。しかし忘れてはいけないのが、資本主義経済の下で競争環境にある私たちは企業実績を全く無視した取り組みは考えにくく、経営状況が悪化すれば「雇用」も脅かされるということです。以上のことから、**経営のチェック機能**を発揮させながら経営に関与し、企業の健全な発展を促していくことが必要なのです。

また、もともと多面的な側面を持つ「労働」を「働きがい・生きがい」の観点で捉えれば、納得性のある施策展開や人間性を尊重した働き方、日々のスムーズな業務推進などが結果として業績に結び付けば、働く者の誇りにつながりますし、同時に企業の価値を高め、お客様からの更なる支持も得られるでしょう。企業運営をこのような良いサイクルにしていくための様々な要求やチェック、提言を行い、会社のカウンターパート・として個人と企業運営をバランスさせていくことが経営対策活動なのです。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>> 一覧へ戻る](#)

